

2023年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日  
東

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所  
 コード番号 9438 URL <https://ir.mti.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前多 俊宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松本 博 (TEL) 03-5333-6323  
 定時株主総会開催予定日 2023年12月23日 配当支払開始予定日 2023年12月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け(オンデマンド配信))

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の連結業績(2022年10月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	26,798	1.2	298	△65.7	458	△5.7	753	—
2022年9月期	26,479	2.9	870	△54.9	485	△64.5	△930	—

(注) 包括利益 2023年9月期 778百万円(—%) 2022年9月期 △1,137百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	13.73	—	5.4	1.6	1.1
2022年9月期	△16.99	—	△5.9	1.6	3.3

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 102百万円 2022年9月期 △457百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	29,155	17,583	47.9	254.36
2022年9月期	29,265	17,877	48.1	256.61

(参考) 自己資本 2023年9月期 13,953百万円 2022年9月期 14,065百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	4,764	△1,349	△1,784	13,720
2022年9月期	△1,393	△2,460	343	12,097

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	8.00	—	8.00	16.00	880	—	5.6
2023年9月期	—	8.00	—	8.00	16.00	880	116.5	6.3
2024年9月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00	—	—	—

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	△4.5	200	—	200	+6.9	50	—	0.91
通期	27,000	+0.8	1,000	+235.1	1,000	+118.1	400	△46.9	7.32

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2023年9月期	61,264,600株	2022年9月期	61,263,000株
2023年9月期	6,405,973株	2022年9月期	6,450,273株
2023年9月期	54,839,609株	2022年9月期	54,781,561株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年9月期の個別業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	20,763	△3.2	1,477	△48.7	761	△40.9	2,404	—
2022年9月期	21,445	3.6	2,879	18.0	1,289	△43.6	△3,524	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年9月期	43.69		—					
2022年9月期	△64.10		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2023年9月期	26,817		16,549		61.5		299.51	
2022年9月期	25,048		15,043		59.6		271.45	

(参考) 自己資本 2023年9月期 16,490百万円 2022年9月期 14,932百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「今後の見通し」をご覧ください。

証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会説明は、オンデマンド配信の形式で行います。動画および説明会資料は、2023年11月9日（木）15時以降に当社IRサイトへ掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るべく、今後の業績拡大が期待できるヘルスケア事業および学校DX事業に積極的に取り組んでいます。

連結業績における売上高は26,798百万円（前期比1.2%増）となり、売上総利益は売上原価の増加により18,373百万円（同1.7%減）となりました。

営業利益については、広告宣伝費の増加を主因とする販売費及び一般管理費（販管費）の増加により、298百万円（同65.7%減）となりました。

経常利益については、持分法による投資利益102百万円（前年同期は持分法による投資損失457百万円の計上）等の要因により、458百万円（同5.7%減）となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、特別利益が還付消費税等や持分変動利益により前期に比べて大幅に増加するとともに、特別損失が前期に比べて大幅に減少したこと等により、753百万円（前期は△930百万円の損失）となりました。

## 連結業績(2022年10月1日～2023年9月30日)

	2023年9月期	2022年9月期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	26,798	26,479	+319	+1.2
売上原価	8,425	7,787	+638	+8.2
売上総利益	18,373	18,691	△318	△1.7
販管費	18,074	17,820	+253	+1.4
営業利益	298	870	△572	△65.7
経常利益	458	485	△27	△5.7
親会社株主に帰属する 当期純利益（△は損失）	753	△930	+1,683	-

## 販管費内訳(2022年10月1日～2023年9月30日)

	2023年9月期	2022年9月期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	18,074	17,820	+253	+1.4
広告宣伝費	2,136	1,580	+555	+35.2
人件費	7,714	7,718	△4	△0.1
支払手数料	2,954	3,094	△139	△4.5
外注費	1,965	2,136	△171	△8.0
減価償却費	1,265	1,352	△86	△6.4
その他	2,038	1,937	+100	+5.2

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しています。当期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいています。

### ① コンテンツ事業

コンテンツ事業には、BtoC型の月額課金サービス（女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』と医師相談サービス『カラダメディカ』は除く）のほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供するオリジナルコミック事業が属しています。

同事業の有料会員数は313万人（2022年9月末比7万人減）となりました。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大が続いているため、有料会員数はほぼ横ばいで推移しています。

売上高は、連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおける動画販売があったものの、前期比で有料会員数が減少したことにより18,108百万円（前期比2.2%減）となりました。

営業利益については、『AdGuard』の入会促進に伴う広告宣伝費が増加したことにより、5,224百万円（同15.7%減）となりました。

### ②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、母子手帳アプリ、子育てDX等）が属しています。

同事業の月額有料会員数は55万人（2022年9月末比4万人減）となりました。また、調剤薬局での導入意欲が高いクラウド薬歴の導入店舗数の拡大に注力した結果、2023年9月末の同店舗数は1,793（2022年9月末比529増）となりました。

売上高は、クラウド薬歴および子育てDX等の売上高が拡大したことにより4,616百万円（前期比14.6%増）となりました。営業損失については、増収効果と費用抑制効果の結果、224百万円の損失（前期は1,108百万円の損失）と赤字額が大幅に縮小しました。

### ③ 学校DX事業

学校DX事業には、連結子会社のモチベーションワークス株式会社が学校法人向けに展開する学校DX事業が属しています。

売上高は、2023年4月からのクラウド型校務支援システム『BLEND』の導入学校数は566校（2022年4月比226校増）となり、月額利用料が増加したことにより852百万円（前期比100.0%増）となりました。営業損失については、売上高が大幅に増加したことにより、668百万円の損失（前期は841百万円の損失）と赤字額が縮小しました。

### ④ その他事業

その他事業には、BtoB型の連結子会社のAutomagi株式会社で展開するAI事業、当社における大手法人向けDX支援事業やソリューション事業等が属しています。

法人向けDX支援事業の受注が拡大しましたが、売上高はAI事業の受注が減少したことから、4,822百万円（前期比0.5%減）となりました。業損失については、AI事業の減収および法人向けDX支援事業での赤字案件への対応に伴い売上原価が増加したことを主因とし、1,398百万円の損失（前期は826百万円の損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当期末の資産合計は29,155百万円となり、2022年9月末対比110百万円減少しました。

資産の部については、流動資産では未収消費税等が減少しましたが、現金及び預金の増加を主因に161百万円増加し、固定資産では投資有価証券が増加しましたが、のれん、顧客関連資産の減少を主因に272百万円減少しました。

負債の部については、流動負債では未払法人税等および未払消費税等が増加したことを主因に944百万円増加し、固定負債では主に長期借入金が増加したことにより760百万円減少しました。

純資産の部については、親会社株主に帰属する当期純利益として753百万円を計上する一方、配当金の支払い等により293百万円減少しました。

**(3) 当期のキャッシュ・フローの概況**

当期末の現金及び現金同等物は13,720百万円となり、2022年9月末対比1,623百万円の増加となりました。当期における各キャッシュ・フローの状況および要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費および未収消費税等の受け取り等により4,764百万円の資金流入（前期は1,393百万円の資金流出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産（主にソフトウェア）の取得による支出等により1,349百万円の資金流出（前期は2,460百万円の資金流出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済および配当金の支払いにより1,784百万円の資金流出（前期は343百万円の資金流入）となりました。

**(4) 今後の見通し**

今後の業績拡大の牽引役として期待できるヘルスケア事業のさらなる売上拡大および黒字化に注力するとともに、コンテンツ事業ではセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大やオリジナルコミック事業の拡大に取り組んでいきます。

また、当社子会社のモチベーションワークス株式会社にて積極展開する学校DX事業の拡大にも注力していきます。同社が提供するクラウド型校務支援システム『BLEND』に対する受注の引き合いが強くなり、2024年4月からの導入学校数の拡大に向けて鋭意対応中です。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、BtoC型に比べてお客様と長期間にわたり取引関係を構築することにより安定的なストック型ビジネスになり得るため、売上成長を実現できるよう様々な展開を実施していきます。

特に調剤薬局での導入意欲が高いクラウド薬歴については、ヘルスケア事業の持続的な売上成長に寄与できることから、協業先である株式会社メディパルホールディングスとの連携強化を行うことを通じて、導入店舗数をさらに拡大させていきます。

また、母子手帳アプリ『母子モ』が導入されている自治体を中心に子育て関連サービスを拡充することにより、そして自治体、病院、住民のデジタル連携の実現を通じた子育てDX『母子モ』プラットフォーム戦略の推進を行うことにより、中期的に利益貢献できるように取り組んでいきます。

**【業績予想数値の前提】**

当社グループにおける未確定な新規事業や蓋然性の低いM&Aの影響等は考慮しておらず、業績予想の数値に織り込んでいません。今後、見通しと業績予想との間に乖離が生じ、開示すべき事象が生じた場合には速やかに開示します。

**2024年9月期 第2四半期累計期間 連結業績予想  
(2023年10月1日～2024年3月31日)**

	(百万円)	前年同期比 (%)
売上高	13,000	△4.5
営業利益	200	(前年同期は18百万円の損失)
経常利益	200	+6.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	50	(前年同期は326百万円の損失)

**2024年9月期 通期 連結業績予想  
(2023年10月1日～2024年9月30日)**

	(百万円)	前期比 (%)
売上高	27,000	+0.8
営業利益	1,000	+235.1
経常利益	1,000	+118.1
親会社株主に帰属する当 期純利益	400	△46.9

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,097,658	13,720,915
受取手形、売掛金及び契約資産	4,294,825	4,197,136
前渡金	230,049	214,194
前払費用	434,784	414,268
未収入金	71,031	131,853
未収還付法人税等	485,089	10,630
その他	1,199,240	285,346
貸倒引当金	△34,097	△33,941
流動資産合計	18,778,582	18,940,404
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	308,888	328,982
減価償却累計額	△242,130	△243,495
建物附属設備(純額)	66,758	85,487
車両運搬具	277	478
減価償却累計額	△277	△333
車両運搬具(純額)	0	144
工具、器具及び備品	601,076	625,599
減価償却累計額	△474,773	△497,520
工具、器具及び備品(純額)	126,302	128,079
有形固定資産合計	193,060	213,711
無形固定資産		
ソフトウェア	2,058,982	1,894,135
のれん	655,709	240,012
顧客関連資産	912,600	491,400
その他	163,473	230,614
無形固定資産合計	3,790,765	2,856,162
投資その他の資産		
投資有価証券	3,675,499	4,081,380
敷金及び保証金	337,475	305,268
繰延税金資産	2,394,793	2,658,854
その他	106,411	110,361
貸倒引当金	△10,904	△10,704
投資その他の資産合計	6,503,275	7,145,160
固定資産合計	10,487,102	10,215,035
資産合計	29,265,684	29,155,439



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,068,638	1,023,077
1年内返済予定の長期借入金	751,780	747,600
未払金	1,221,218	1,279,759
未払費用	501,487	502,655
未払法人税等	19,236	637,619
未払消費税等	23,161	316,185
契約負債	2,356,643	2,567,914
役員賞与引当金	30,609	28,862
その他	413,577	227,086
流動負債合計	6,386,353	7,330,762
固定負債		
長期借入金	3,178,010	2,431,250
退職給付に係る負債	1,816,159	1,786,153
その他	7,432	23,449
固定負債合計	5,001,601	4,240,853
負債合計	11,387,955	11,571,615
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,218,512	5,232,677
資本剰余金	6,768,841	6,485,816
利益剰余金	5,224,287	5,143,458
自己株式	△3,257,237	△3,230,813
株主資本合計	13,954,404	13,631,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,554	165,132
為替換算調整勘定	89,490	97,848
退職給付に係る調整累計額	△53,931	59,594
その他の包括利益累計額合計	111,114	322,575
新株予約権	110,774	59,147
非支配株主持分	3,701,436	3,570,962
純資産合計	17,877,729	17,583,824
負債純資産合計	29,265,684	29,155,439

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	26,479,310	26,798,991
売上原価	7,787,727	8,425,737
売上総利益	18,691,583	18,373,254
販売費及び一般管理費	17,820,953	18,074,827
営業利益	870,629	298,426
営業外収益		
受取利息	135	104
受取配当金	7,012	3,961
為替差益	102,308	38,170
持分法による投資利益	—	102,204
受取補償金	503	34,759
その他	37,819	29,395
営業外収益合計	147,777	208,596
営業外費用		
支払利息	5,491	11,489
持分法による投資損失	457,088	—
消費税差額	17,018	22,562
支払手数料	9,231	7,903
その他	43,621	6,615
営業外費用合計	532,451	48,571
経常利益	485,955	458,451
特別利益		
固定資産売却益	—	501
投資有価証券売却益	—	14
関係会社株式売却益	12,417	19,904
持分変動利益	76,481	237,588
新株予約権戻入益	54,027	51,424
還付消費税等	—	873,339
特別利益合計	142,925	1,182,773
特別損失		
固定資産売却損	119	—
固定資産除却損	27,816	25,691
減損損失	897,949	347,842
投資有価証券売却損	3,240	13,450
投資有価証券評価損	—	55,689
段階取得に係る差損	4,700	—
特別損失合計	933,826	442,673
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△304,944	1,198,550
法人税、住民税及び事業税	718,258	947,796
法人税等調整額	40,756	△316,777
法人税等合計	759,015	631,019
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,063,960	567,530
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△133,485	△185,689
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△930,474	753,220

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,063,960	567,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89,830	5,191
為替換算調整勘定	82,773	4,520
退職給付に係る調整額	△67,810	113,525
持分法適用会社に対する持分相当額	1,597	88,224
その他の包括利益合計	△73,270	211,461
包括利益	△1,137,230	778,992
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,004,354	964,681
非支配株主に係る包括利益	△132,876	△185,689

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,197,909	6,660,831	8,665,046	△3,281,839	17,241,947
会計方針の変更による累積的影響額			△1,630,684		△1,630,684
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,197,909	6,660,831	7,034,361	△3,281,839	15,611,263
当期変動額					
新株の発行	20,603	20,603			41,207
剰余金の配当			△879,599		△879,599
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△930,474		△930,474
連結子会社持分の増減		112,008			112,008
持分法の適用範囲の変動					—
連結除外に伴う利益剰余金増減					—
自己株式の消却		△24,601		24,601	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	20,603	108,010	△1,810,074	24,601	△1,656,858
当期末残高	5,218,512	6,768,841	5,224,287	△3,257,237	13,954,404

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	165,205	5,908	13,879	184,993	161,887	3,654,545	21,243,375
会計方針の変更による累積的影響額							△1,630,684
会計方針の変更を反映した当期首残高	165,205	5,908	13,879	184,993	161,887	3,654,545	19,612,690
当期変動額							
新株の発行							41,207
剰余金の配当							△879,599
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△930,474
連結子会社持分の増減							112,008
持分法の適用範囲の変動							—
連結除外に伴う利益剰余金増減							—
自己株式の消却							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△89,650	83,582	△67,810	△73,879	△51,113	46,890	△78,102
当期変動額合計	△89,650	83,582	△67,810	△73,879	△51,113	46,890	△1,734,960
当期末残高	75,554	89,490	△53,931	111,114	110,774	3,701,436	17,877,729

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,218,512	6,768,841	5,224,287	△3,257,237	13,954,404
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,218,512	6,768,841	5,224,287	△3,257,237	13,954,404
当期変動額					
新株の発行	14,164	14,164			28,328
剰余金の配当			△880,593		△880,593
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			753,220		753,220
連結子会社持分の増減		△270,765			△270,765
持分法の適用範囲の変動			43,092		43,092
連結除外に伴う利益剰余金増減			3,452		3,452
自己株式の消却		△26,424		26,424	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	14,164	△283,024	△80,828	26,424	△323,265
当期末残高	5,232,677	6,485,816	5,143,458	△3,230,813	13,631,139

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	75,554	89,490	△53,931	111,114	110,774	3,701,436	17,877,729
会計方針の変更による累積的影響額							—
会計方針の変更を反映した当期首残高	75,554	89,490	△53,931	111,114	110,774	3,701,436	17,877,729
当期変動額							
新株の発行							28,328
剰余金の配当							△880,593
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)							753,220
連結子会社持分の増減							△270,765
持分法の適用範囲の変動							43,092
連結除外に伴う利益剰余金増減							3,452
自己株式の消却							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	89,578	8,357	113,525	211,461	△51,627	△130,473	29,360
当期変動額合計	89,578	8,357	113,525	211,461	△51,627	△130,473	△293,905
当期末残高	165,132	97,848	59,594	322,575	59,147	3,570,962	17,583,824

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△304,944	1,198,550
減価償却費	1,493,718	1,428,537
減損損失	897,949	347,842
のれん償却額	247,076	272,543
貸倒引当金の増減額(△は減少)	923	119
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	149,703	129,734
受取利息及び受取配当金	△7,147	△4,066
支払利息	5,491	11,489
持分法による投資損益(△は益)	457,088	△102,204
段階取得に係る差損益(△は益)	4,700	—
持分変動損益(△は益)	△76,481	△237,588
固定資産売却損益(△は益)	119	△501
固定資産除却損	27,816	25,691
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,176	13,435
投資有価証券評価損益(△は益)	—	55,689
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△19,904
新株予約権戻入益	△54,027	△51,424
売上債権の増減額(△は増加)	362,410	91,252
前渡金の増減額(△は増加)	51,601	15,220
前払費用の増減額(△は増加)	14,917	19,727
未収入金の増減額(△は増加)	23,740	△66,940
仕入債務の増減額(△は減少)	△117,663	△44,348
未払金の増減額(△は減少)	△13,164	86,370
未払費用の増減額(△は減少)	△3,260	1,168
未払又は未収消費税等の増減額	△1,307,102	1,147,598
その他	△79,780	436,084
小計	1,764,509	4,754,078
利息及び配当金の受取額	6,089	4,066
利息の支払額	△5,491	△11,489
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,158,660	17,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,393,553	4,764,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△84,236	△100,132
有形固定資産の売却による収入	—	281
無形固定資産の取得による支出	△2,114,326	△1,062,869
無形固定資産の売却による収入	—	220
投資有価証券の売却による収入	16,196	1,519
事業譲受による支出	△237,515	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△29,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	14,014	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△226,507
その他	△25,732	38,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,460,600	△1,349,438
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	204	90,000
短期借入金の返済による支出	△204	△53,016
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△476,435	△750,940
株式の発行による収入	39,874	28,125
非支配株主からの払込みによる収入	285,000	—
非支配株主への払戻による支出	—	△2,940
配当金の支払額	△879,599	△880,593
非支配株主への配当金の支払額	—	△2,940
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△85,400	△212,500
子会社の自己株式の取得による支出	△39,900	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	343,539	△1,784,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	68,187	4,666
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,442,426	1,634,689
現金及び現金同等物の期首残高	15,540,084	12,097,658
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△11,431
現金及び現金同等物の期末残高	12,097,658	13,720,915

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

#### (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、事業部・サービス区別のセグメントから構成されており、「コンテンツ事業」、「ヘルスケア事業」、「学校DX事業」、および「その他事業」の4つを報告セグメントとしています。

#### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「コンテンツ事業」には、BtoC型の月額課金サービス（女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』と医師相談サービス『カラダメディカ』は除く）のほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供するオリジナルコミック事業が属しています。

「ヘルスケア事業」には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、母子手帳アプリ、子育てDX等）が属しています。

「学校DX事業」には、連結子会社のモチベーションワークス株式会社が学校法人向けに展開する学校DX事業が属しています。

「その他事業」には、BtoB型の連結子会社のAutomagi株式会社で展開するAI事業、当社における大手法人向けDX支援事業やソリューション事業等が属しています。

#### (3) 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社であるモチベーションワークス株式会社が営む「学校DX事業」について重要性が増したため、内部管理上の区分を見直したことに伴い、当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「コンテンツ事業」「ヘルスケア事業」「その他事業」の3区分から、「コンテンツ事業」「ヘルスケア事業」「学校DX事業」「その他事業」の4区分に変更しています。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については変更後の区分により作成しており、「3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」の前連結会計年度に記載していません。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。



3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	18,262,957	3,924,384	426,043	3,012,443	25,625,828	—	25,625,828
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	21,645	89,995	—	741,840	853,481	—	853,481
顧客との契約から 生じる収益	18,284,602	4,014,379	426,043	3,754,284	26,479,310	—	26,479,310
外部顧客への売上高	18,284,602	4,014,379	426,043	3,754,284	26,479,310	—	26,479,310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	234,341	15,911	—	1,092,490	1,342,742	△1,342,742	—
計	18,518,943	4,030,290	426,043	4,846,774	27,822,053	△1,342,742	26,479,310
セグメント利益 又は損失(△)	6,200,238	△1,108,664	△841,061	△826,266	3,424,245	△2,553,616	870,629
その他の項目							
減価償却費	906,331	209,730	163,842	113,240	1,393,145	100,573	1,493,718
のれんの償却額	217,037	5,801	—	24,238	247,076	—	247,076

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,553,616千円には、セグメント間取引消去△81,484千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△2,472,132千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。
- 3 セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載していません。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	17,902,494	4,549,752	780,889	2,822,202	26,055,338	—	26,055,338
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	42,424	56,793	71,225	573,209	743,652	—	743,652
顧客との契約から 生じる収益	17,944,918	4,606,546	852,114	3,395,411	26,798,991	—	26,798,991
外部顧客への売上高	17,944,918	4,606,546	852,114	3,395,411	26,798,991	—	26,798,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	163,991	10,181	—	1,427,229	1,601,403	△1,601,403	—
計	18,108,910	4,616,728	852,114	4,822,641	28,400,394	△1,601,403	26,798,991
セグメント利益 又は損失(△)	5,224,120	△224,692	△668,212	△1,398,874	2,932,340	△2,633,913	298,426
その他の項目							
減価償却費	859,839	241,142	208,053	44,929	1,353,965	74,572	1,428,537
のれんの償却額	257,878	14,353	—	311	272,543	—	272,543

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,633,913千円には、セグメント間取引消去△16,068千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△2,617,845千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

3 セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載していません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
減損損失	237,244	—	—	660,704	897,949	—	897,949

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
減損損失	102,050	237,236	—	8,554	347,842	—	347,842

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	256円61銭	254円36銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△16円99銭	13円73銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△930,474千円	753,220千円
普通株主に帰属しない金額	—千円	—千円
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△930,474千円	753,220千円
普通株式の期中平均株式数	54,781,561株	54,839,609株
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	—	—
普通株式増加数	—	—
(うち新株予約権)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

## (関連会社における固定資産の譲渡)

当社の持分法適用関連会社である株式会社昭文社ホールディングス(以下、「昭文社HD」という。)(当社持分比率29.65%)は、2023年10月20日開催の取締役会において、東京都江東区に保有する固定資産(事務所及び駐車場)を売却することを決議し、2023年10月31日に譲渡契約を締結しています。

本件固定資産売却により、昭文社HDにおける第3四半期連結会計期間(2023年10月1日～2023年12月31日)に、固定資産売却益1,562百万円が特別利益として計上される予定です。当社の連結財務諸表上は、2024年9月期第1四半期連結会計期間(2023年10月1日～2023年12月31日)において、持分法の会計処理に従って、持分法による投資損益として処理される見込みです。